

バンガード®・米国電気通信サービス・セクターETF

2017年9月30日現在

VOX

投資アプローチ

- MSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックスのパフォーマンスへの連動を目指します。
- 米国の電気通信・サービス・セクターの大型株、中型株、小型株に投資します。
- 可能な限り、完全法を用いたパッシブ運用を行います。
- 完全法が規制上採用できない場合は、インデックス・サンプリング法を用いてインデックスの主要な特徴に近似します。
- ファンドはフルインベストメントを維持します。
- 低経費によってトラッキングエラーを最小限に抑えます。

ベンチマークについて

- MSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックスは、米国の電気通信・サービス・セクター株式銘柄で構成されています。
- このセクターは、主として固定回線、携帯無線、ワイヤレス、広帯域通信、光ファイバー・ケーブルネットワークを通じて通信サービスを提供する企業で構成されています。
- GICS基準により明確にセクターを分類しています。
- 大型株、中型株、小型株を含んでおり、対象セクター全体を幅広く網羅しています。

パフォーマンス実績

2017年9月30日までのトータルリターン²

VOX (設定2004年9月23日)	四半期	年初来	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
基準価額 (NAV) リターン ³	1.29%	-5.39%	1.04%	5.97%	8.26%	4.49%	8.03%
市場価格リターン ⁴	1.32	-5.41	1.10	5.97	8.26	4.51	8.03
合成USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックス	1.24	-5.46	0.97	6.02	8.25	3.86	7.46

2010年2月26日まではMSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス・インデックス、その後はMSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックス。

上に掲げたパフォーマンスのデータは過去の実績であり、今後の結果を保証するものではありません。投資リターンと元金価額は変動するため、投資家が持分を売却する時には、その価値が当初のコストを上回る、あるいは下回ることがあります。また現在のパフォーマンスは上述のデータを上回る、あるいは下回ることがあります。

インデックスに直接投資することはできません。

投資商品：FDIC保険対象外・銀行保証なし・投資元金損失のリスクあり

概要

ベンチマーク	MSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックス
経費率 ¹	0.10%
配当スケジュール	四半期毎
ETF純資産総額	13.29億米ドル
ファンド純資産総額	13.79億米ドル
設定日	2004年9月23日

取引情報

ティッカー・シンボル	VOX
CUSIP番号	92204A884
IIV (イントラデイ・ティッカー)	VOX.IV
インデックス・ティッカー (Bloomberg)	M5US5TCI
上場取引所	NYSE Arca

ETFの主なデータ

	バンガード・米国電気通信サービス・セクターETF	MSCI USインベスタブル・マーケット・電気通信サービス25/50インデックス
構成株式銘柄数	27	27
時価総額の中央値	512億米ドル	512億米ドル
株価収益率	19.5倍	19.5倍
株価純資産倍率	1.9倍	1.9倍
株主資本利益率	11.5%	11.5%
利益成長率	23.0%	23.0%
売買回転率 ⁵	20.0%	—
標準偏差 ⁶	12.05%	12.05%



¹ 直近の目論見書の記載から(2016年12月22日付)。ファンドの現在の経費率は、目論見書に記載されている数値よりも低い、または高い可能性があります。

² 期間1年未満の数値は累積のリターンです。それ以外の数値は平均の年次リターンです。ファンドのパフォーマンス実績は、配当金とキャピタルゲインの再投資を含む、税引前および経費差引後の数値です。ベンチマークとなるインデックスが示すのは、さまざまな金融資産にかかる、ファンドマネジャーによる運用がされていないリターン、あるいは平均リターンであり、ファンドの相対的なパフォーマンスを検討する上で、ファンドのトータルリターンとの比較対象となります。

³ 米国東部時間午後4時、すなわちニューヨーク証券取引所の大引け時の基準価額。

⁴ 市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は米国東部時間午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算します。

⁵ 最新の会計年度の数字。売買回転率の計算には、バンガードETFのクリエーション・ユニット(原資産バスケット)の引渡しを含む、現物による設定・解約の結果受渡しされる証券価額は含まれません。

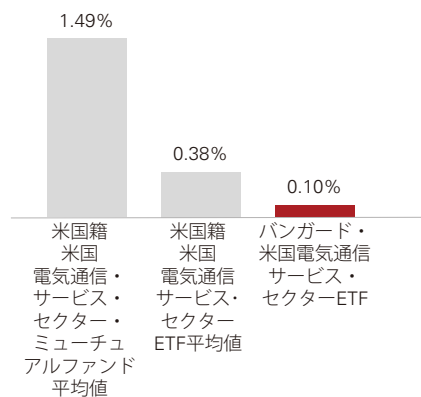
⁶ ファンドの変動率の指標の一つで、過去のリターンの分散の程度を示します。過去3年間の月次リターンを基に計算し、標準偏差の値が大きいほど、潜在的な変動率が高いこととなります。過去のパフォーマンス実績が36ヵ月に満たないファンドについては、標準偏差は計算されません。

バンガード・米国電気通信サービス・セクターETF

2017年9月30日現在

VOX

経費率の比較¹



時価総額の内訳

大型株	53.7%
中型株	10.7%
小型株	35.6%

保有上位10銘柄と純資産総額に占める割合 (%)²

AT&T Inc.	23.4%
Verizon Communications Inc.	23.1
Level 3 Communications Inc.	4.5
T-Mobile US Inc.	4.4
CenturyLink Inc.	3.3
Zayo Group Holdings Inc.	2.9
Sprint Corp.	2.9
Shenandoah Telecommunications Co.	2.4
Vonage Holdings Corp.	2.4
Cogent Communications Holdings Inc.	2.4
純資産総額に占める上位10銘柄の割合	71.7%

産業サブグループ別の構成比率 (普通株式の割合比較) (%)³

総合電気通信サービス	61.4%
代替通信事業会社	23.7
無線通信サービス	14.9

¹ 直近の目論見書に記載されているバンガードETFの経費率です。 뮤チュアルファンドとETFとの間には大きな違いがあります。ETFは 뮤チュアルファンドと異なり、流通市場において終日にわたって絶えず値付けされ、証券ブローカーの仲介によって、基準価額にプレミアム/ディスカウントを加えて売買されます。この仲介に対しては手数料が支払われます。出所：Lipper, a Thomson Reuters Company、およびVanguard、2016年12月31日

² 記載された保有銘柄は一時的な現金投資および株式インデックス商品を含みません。

³ セクターは、世界産業分類基準 (GICS) による分類です。

バンガードETFにおける受益証券の設定または交換は、通常数百万ドル単位のクリエーション・ユニット (原資産バスケットおよび現金) の引き渡しによってのみ行われます。投資家は、流通市場においてバンガードETFの受益証券の売買を行い、証券取引口座にこれらの受益証券を保有しなければなりません。その際、投資家は仲介手数料を課されます。また、ETF購入の際には基準価額を上回る金額を支払い、あるいは売却時には基準価額を下回る金額を受け取る可能性があります。

すべてのETF商品はリスクにさらされており、元金が失われる可能性があります。セクターETF商品はセクターリスクおよび非分散化リスクにさらされており、株式市場全体の変動以上に大きなパフォーマンス変動に繋がる可能性があります。

本資料の中で言及されているファンドまたは証券に関して、MSCIはスポンサーではなく、そのようなファンドまたは証券の保証や販売促進を行うものではなく、またそのようなファンドまたは証券に対して何らの責任を負うものではありません。MSCIとバンガードおよびバンガード関連ファンドとの間に発生する限定的な関係性については、そのようなファンドまたは証券の目論見書または追加情報 (Statement of Additional InformationまたはSAI) に詳しく記載されています。

バンガードETFについての詳しい情報は取扱い証券会社にお問い合わせください。また、投資目的、リスク、手数料、経費、その他重要情報等を十分にご検討ください。